

浦添連覇 6点差逆転

ハンド県高校選手権

ハンドボールの第59回県高校選手権最終日は22日、北部生涯学習推進センターで男女決勝を行い、男子は興南が浦添を26-22で破って16大会連続の38度目の優勝、女子は浦添が那覇西に36-28で勝って2年連続13度目の頂点に立った。

男子は興南が序盤、相手のミスから得点して試合を優位に進めると、高い技術を生かしてゴールを重ねた。女子は浦添が6連続失点で一時3-9とリードを許したが、守備が機能すると攻撃も活発になって前半で18-14と逆転。後半には点差を広げた。

男女の4強は県高校新人大会のシード権を獲得した。

【男子】
▽決勝
興南 26 (14-9) 22 浦添
【女子】
▽決勝
浦添 36 (18-14) 28 那覇西



女子決勝 浦添 那覇西 後半、浦添の榎原花倫が30点目のシュートを決める。北部生涯学習推進センター（金城拓撮影）

女子 主将大城 チーム鼓舞

浦添は6点差をひっくり返す逆転劇で2連覇。榎原花倫と並んでチーム最多10得点の前盛静来は「喜舎場淳一監督から『このままでは優勝できない』と言われていた。少しは見返すことができたので、うれしい」と笑顔を見せた。

3-3となった前半5分過ぎから、相手の速攻や長短のパスを許し、6連続失点で3

9。守備での声かけが弱くて意思疎通がうまくいかず、相手にスペースを突かれた。

沈んだ雰囲気気付いた主将の大城詩が「みんなで走って、戦おう」と鼓舞。身長177cmの大型GK新垣瑠唯が「前日の相手の試合を見て特徴はつかんでいた」と体や手足でシュートを止めると、速攻も決まり始めた。

得点するたびにコートやベンチが盛り上がり、前半23分で13-13の同点に追いついた。7分スローを3連続で決めて勝ち越すと勢いのままに勝利した。

引退した3年は全国総体8強。前盛は「私たちの代のチームで自分たちができることをやりたい。新人大会の目標は優勝」ときっぱり言い切った。（又吉健次）

興南、16大会連続制覇

男子 高い技術 地力勝る

男子決勝 興南-浦添 前半、興南の松堂航也が12点目のシュートを決める

興南は危なげなくリードを保って26-22と快勝。主将の高岡晃大は「新チームになって最初の大会で、いいスタートを切ることができた」と喜んだ。だが「35得点以上、15失点以下」「全国大会4強以上」と高い目標を掲げるだけに、反省点もある優勝となった。

現2年が昨年の1年生大会で敗れた浦添商業との前日の準決勝を一つのヤマ場と位置付けていた。そこを乗り越えて進んだ決勝ではどこか気が抜けてしまい、高岡は「守備ではうまく相手に当たれず、声が出ていなかった」と振り返った。

それでも高い技術で得点を重ね、ベンチの選手も出場して経験を積んだ。ゴール前を守った安里康生は「レベルアップし、頼られる選手になりたい」、小波津和史は「どの選手が出て同じレベルで戦えるようになりたい」と成長を誓った。（又吉健次）



普天間 北中城 5回裏北中城2死一塁、宮城光玖の中間適時打で二走・知名史通が生還。コサ

要としてチー